

福商会報

FUKUSHO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所／一般社団法人 福商会 発行責任者／後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092(711)9890 FAX : 092(711)9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.163

(2012年 5月発行)



写真提供 阿部勝喜さん(56回生)

東京スカイツリー (高さ 634メートル/平成24年5月22日開業)

歓迎！今年卒業の312人



110回生 入会おめでとう

福商会入会式

卒業式を3月1日にひかえた2月24日(金)に、110回生(総合学科第10期生) 312人(男子113人、女子199人)の福商会入会式を福翔高校多目的ホールで開催しました。

学校からは井上直輝校長はじめ3年生クラス担任の先生方、押領司父母教師会会長、

PTA役員、福商会から山口毅理事 長、秋丸武士、宇土健治副理事長、後藤幹生専務理事、体育部OB会会長、母校活性化委員会役員が出席しました。

役員が出席しました。



山口理事長

山口毅理事 長、秋丸武士、宇土健治副理事長、後藤幹生専務理事、体育部OB会会長、母校活性化委員会

橋詰京美さん(80回生)の司会です。まず「国歌斉唱」。山口理事長から福商会を代表して「入会を歓迎する」。「これからが人生のスタートで進学、就職にあたり勉学に精を出してパワーを身に付け、社会に羽ばたいて欲しい」と激励。「福商会の先輩方との絆を深める努力をするため、福商会報などを読んで情報を得てほしい」との言葉がありました。

井上校長



井上校長からは「福博経済界の重鎮を生み出している福商の先輩がたと、今後卒業していく



平田哲子さん

後輩の皆さんとの縦の繋がりを大事にして欲しい」との話がありました。先輩を代表して、さくら会会長平田哲子さん(64回生)

から「昨年の福翔高校の開校記念日で講演された故・山下郁子さん(76回生)の話や、日々の努力で偉人として尊敬される人。また、福翔で素晴らしい体験を生じて『熱・意気・力』の言葉を噛みしめて生きていって欲しい」と励ましがありません。

青木事務長(66回生)からは「福商会館の案内パンフ」をもとに福商会の役割、事業内容の説明、



入会生 奥本留伊君

福商会報の5年間の送付や福商会名簿の充実にもむけて、転居の際に「住所変更のはがき」を提出するよう話がありました。



入会式会場

新会員を代表して奥本留伊君から、盛大な入会式を開催していただいた感謝の言葉と母校の伝統に誇りをもって行動していく旨の強い決意表明がありました。最後に全員で校歌を高らかに歌い終了しました。

人生の基本を学ぶ

第9回「福商縦の糸の会」



大塚重敏さん(52回生)



山口理事長



井上校長



応援団演技



博多手一本

2月3日(金)新装なった八仙閣(博多区)で今年も「福商縦の糸の会」を同窓生、福翔高校関係者の出席のもと149人が集まり盛大に行われました。

第1部は今年も東京からJA全農(旧全購連)福岡支所長を務められ、本年、福商会東京支部長に就任された大塚重敏氏(52回生)をお迎えして「人生の基本を教えられる母校」の演題で講演をいただきました。

鬼木望根子さん(79回生)の司会により、山口理事長(52回生)から開会あいさつがあり、その後、後藤専務理事(55回生)から福商会の活動報告と、講師のプロフィールの紹介があり、講演に移りました。

福商高校で日本人としての国家観を教えられた恩師丸田先生の話や、吉田松陰の松下村塾のなどをホワイトボードを使用し、分り易く講演していただきました。

また、JA出身者として今話題のTPP(環太平洋連携協定)への参加の話を具体的な功罪を交えて話をされ、参加者からは勉強になったと、多くの声が聞かれました。懇親会に移り、池見楓雄さん(39回生)から乾杯の首頭で懇親の輪がテーブルごとに広がっていきま

した。福翔高校の井上直輝校長からご出席いただいた教師のご紹介がありました。さくら会からは平田哲子さんのあいさつ。今年度全国合同同窓会の当番幹事(87回生)のあいさつが続ぎ、応援団OB3人のリードで校歌を高らかに歌いあげました。

最後に博多祝い歌を小川敏さん(59回生)吉田康一さん(69回生)石田守さん(79回生)の3人で歌われ、博多手一本は松本勇夫さん(49回生)で会が終了しました。

理事会開催

2月3日(金)八仙閣(福岡市博多区)で定例の理事会を開催しました。

山口理事長のあいさつに続き、議長は定款の規定により山口理事長、議事録署名人は監事、渡邊佳道さん(54回生)、山田康夫さん(57回生)の2人を定款の規定により指名し、議案審議に入りました。

後藤専務理事から2議案について詳しい説明があり、理事に諮ったところ1号議案は全会一致、2号議案は賛成多数で承認されました。

青木事務長から報告事項の説明があり、同窓会チケットの配付については、各回生の同窓会が2月後半には逐次開催されるので、早急にチケットを印刷するよう要望がありました。



【議案】

第1号議案 剣道部OB会(剣友会)に対し、寄付金の予算計上について
第2号議案 福翔校110周年記念事業の募金期間延長について

【議題】

- ①収支報告(4月~12月)
- ②年会費納入状況報告
- ③全国合同同窓大会の回生別チケット販売について
- ④その他

体育部4部へ 強化費を支給

2月24日、福翔高校で体育4部(剣道、野球、サッカー、バスケットボール)のOB会役員、保護者会、福翔高校監督が集まり、平成24年度の体育強化費の支給を行いました。

初めに福商会山口理事長のあいさつがあり、各監督から昨年度の成績発表と今年度の抱負について説明がありました。

その中で、剣道部の女子寮の完成を3月に控え、一層の活躍が期待される女子剣道部の菊池監督から力強い決意が披露されました。

各クラブからも保護者会、OB会、監督、コーチが一体となって、全国大会出場を目標として努力していくことが表明されました。

福商OBの皆様、現役選手の応援をよろしくお願いいたします。



福商会報

Vol.163

CONTENTS

福商会入会式	2	同舟往来	13
縦の糸の会	3	さくら会だより	14
理事会報告	4	企業紹介	15
学園だより	5~8	会費納入者	16~17
催し物・投稿	9	110周年記念誌	18
同窓会だより	10~11	募金納入者	19~21
たまたま会	12	追悼	22~23

福商会奨学金 交付式開催

平成23年度中牟田奨学生、福商会奨学生
 に対しての奨学金説明会並びに交付式が、
 11月14日、福翔高校で保護者同席のもと開
 催されました。

福商会からは宇土副理事長、青木事務長
 が参加しました。

今年度から奨学生の選出については「厳
 選」という方針で、支給開始を2期に
 分け、かつ選考は学校の選考だけでなく、
 学校と同窓会での事前審査を経て決定する
 ということで、厳選化された奨学生選出に
 なっています。

その結果、中牟田奨学生7人、福商会奨
 学生学習活動35人、部活動奨学生15人の合
 計57人となりました。

井上直輝校長から奨学金制度についての
 説明があり、宇土副理事長からは、奨学生
 に向けて「誇り」「感謝」「貢献」の3つの
 言葉を忘れず、今後の生活を盛り多いもの
 にしてもらいたいとの激励のメッセージが
 送られました。

今年度奨学生は次のとおりです。

中牟田奨学生

【1年】

- 城 彩紗香 甲斐 玲南
- 坪内 優風

福商会奨学生

【2年】

- 梶 健太郎 五頭 克也
- 藤田 翔平

【3年】

- 本村 達

【1年】

- 吉田 優哉 山口 真由
- 加藤 希 中村 優花
- 廣川由以子 田中 愛
- 古家 広貴 黒才 達也
- 城戸 優鈴 小野 将寛
- 伊藤 恵祐 南田 真樹
- 中島 寛治 藤田 一馬

【2年】

- 石井 百花 大平 昂
- 長野 凱起 日比生隼斗
- 眞田 利郁 安井紗知子
- 奥山 美希 塚本安記規
- 宝満 美咲 波多江彩香
- 石井 寿斗 間宮 伸吾
- 原口由紀子 宮原 聖華
- 今村 光 村上 茜
- 長吉 春香 松尾 明宣
- 遠藤 友太 小澤 智将

【3年】

- 長沼 遙 吉村 愛子
- 中村 彩希 篠原 惇志
- 奈尾 祐弥 塚本 尚人
- 山崎 千尋 山田 有彩
- 森脇 護 國本 晴香
- 小田 郁輝 松尾 涼
- 城 千晶 田中 篤
- 坂本 雄貴 井上雄太郎

 <p>会長 高木 不二男 (60回生) Fujiio Takaki</p> <p>株式会社 ダリア 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-3-25 TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347 E-mail/f-takaki@dalia.co.jp http://www.dalia.co.jp</p>	<p>「うまい!」うれしいお礼のことば きつと印象に残ります……………</p> <p>味のめんたい 福太郎</p> <p>代表取締役社長 山口 毅 (52回生)</p> <p>■配送センター・工場 〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777</p>	<p>傑作まんじゅう </p> <p>博多通りもん</p> <p>株式会社 明月堂</p> <p>秋丸 武士 (58回生)</p> <p>〒812-0892 福岡市博多区東那珂2-11-23 TEL(092)411-7777 FAX(092)411-7878</p>
<p>紙与産業株式会社 紙与不動産株式会社</p> <p>代表取締役会長 渡 邊 與三郎 (39回生)</p> <p>福岡市中央区天神1丁目12の14号 電話 (092) 721-4531 番</p>	 <p>本造りのプロフェッショナル</p> <p>正光印刷株式会社</p> <p>営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号 PHONE:(092)741-3266 携 帯:(090)8761-1725 藤 村 みつお (53回生)</p>	<p>躍進する 総合建設業・木材業 粕屋グループ 不動産業・アバマン粕屋店</p> <p>一級建築士事務所</p> <p>粕屋殖産株式会社</p> <p>代表取締役会長 篠原隆義 (54回生)</p> <p>本 社 糟屋郡粕屋町大字仲原2525 電話(代表)092-621-1331番</p>

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

平成23年度 進学・就職状況

進学状況

国公立大学 20人合格！

国公立大学20人、福岡大学140人であった。西南学院大学の76人の合格は本校開校以来の快挙である。本校の3年間の学習システム、進学システムが確実に機能している証であると自信を深めている。
24年度は、新スタイルの福岡を理解して入学してきた生徒たちである。

国公立50人、西南学院大学100人、福岡大学150人の合格を目標とした。

国公立4年制大学	
学校名	人数
佐賀大学	10
北九州市立大学	2
山口大学	2
福岡教育大学	2
熊本大学	1
九州大学	1
福岡女子大学	1
広島大学	1
計	20

私立4年制大学

学校名	人数
福岡大学	140(3)
西南学院大学	76(6)
筑紫女子学園大学	32
九州産業大学	29
久留米大学	29(1)
福岡女子学院大学	22
福岡工業大学	18
中村学園大学	16
帝京大学	10
立命館アジア太平洋大学	6
近畿大学	5
九州共立大学	4
国際医療福祉大学	3
山口東京理科大学	3
純真学園大学	2(1)
日本赤十字九州看護大学	2(1)
徳山大学	2
福岡女子学院看護大学	1
久留米工業大学	1
立命館大学	1
東京造形大学	1
青山学院大学	1
聖マリア学院大学	1
京都文教大学	1
中央大学	1
東京成徳大学	1
東北芸術工科大学	1
長崎国際大学	1
日本体育大学	1
広島工業大学	1

進学状況一覧

国公立4年制大学	20
私立4年制大学	412
国公立・私立短期大学	31
専門学校	55
合計	518

専門学校

学校名	人数
看護医療系専門学校	計20
計	計35(1)
計	55(1)

※()内は過年度生の内数

国公立・私立短期大学

学校名	人数
香蘭女子短期大学	14
中村学園大学短期大学部	4
筑紫女子学院短期大学部	4
福岡工業大学短期大学部	2
福岡女子短期大学	1
精華女子短期大学	1
西日本短期大学	1
福岡女子学院短期大学部	1
九州女子短期大学	1
純真短期大学	1
鳥取短期大学	1
計	31
計	412(12)

就職状況一覧

学校紹介求人	43
自己・縁故等	6
公務員	3
合計	52

内定率 98% (学校紹介分)
昨今の厳しい就職状況のなか、今年度は就職内定率98%でした。次年度も就職希望者への指導を続け、内定率100%を目指します。

就職状況

内定率 98% (学校紹介分)

玄海の磯の香りをそのまま直送



福岡市中央区大名1丁目4-24 ☎(092)781-7388

代表取締役 日野孝治 (77回生)

<http://www.gyoson.jp/>

現役福翔高校生の部活ライフ

VOL. 13 今号は 女子バスケットボール部

努力の結果

私たち女子バスケットボール部は、顧問の花田先生、山田先生、馬場先生、吉村先生のご指導の下、「県大会出場」を目指して日々練習に励んでいます。

10月、私たちの顧問である常勤教師の花田先生が教員試験に合格されました。合格されたことで他校に赴任される花田先生とのバス

ケットも4月までとなりました。

10月、県大会出場への切符である新人戦が始まりました。私たちは「戦い戦順調に勝ち進みましたが、県大会出場を決める試合で惜しくも負けてしまいました。目標だった先生との県大会出場は果たすことはできなかったけれど、私たちはその悔しい気持ちをバネにして今まで以上に練習に励み、最後の大会での優勝を目指すことにしました。

そして2月、三部だけの大会である「市民総合大会」が始まり、私たちは初の「優勝」を手にすることができました。優勝できたときのチームの喜びは光に満ちていて、いつもの悔し涙ではなく、うれし涙へと変わっていました。もちろん、私たちが優勝できたことは、決して私たちの力だけではありません。いつも私たちのために尽くし、熱心にご指導してくださる顧問の先生方、陰ながら見守ってくださる保護者の方々のおかげでここまでくることができました。

本気で「勝ちたい」という気持ちから必死に練習に取り組み、やっと結果につながることもできました。この優勝は目標にとっても通過点ではありますが、このチームで優勝できて本当に良かったです。

次なる目標は変わらず「県大会出場」です。残り二回のチャンスで県大会に出場している姿を見せられるよう、今後もチーム全員で今まで以上に努力を続け、頑張っていきたいと思っています。福商会の皆様のご支援をよろしく、お願いいたします。

女子バスケットボール部

部長 中村早希



平成24年度人事異動
平成24年4月1日付

昇任

平尾 博文主幹教諭
教務主任より

転出

上村 康雄先生
福岡女子高校へ
佐伯 淑子先生
博多工業高校へ
中山 浩二先生
古賀竟成館高校へ
江口 陽典先生
那珂小学校へ

転入

飛松 正義先生
福岡西陵高校より(国語科)
吉永 圭子先生
博多工業高校より(数学科)
因幡 隆幸先生
博多工業高校より(理科)

退職

長い間ご苦勞様でした。
西島 浩二先生(定年)
花村 裕一先生(定年)
原口 優子さん(定年)

藤江 正雄先生
再任用福岡西陵高校より(英語科)
米原 光章先生
古賀竟成館高校より(保健体育科)
長田 拓実先生
福翔高校常勤講師より(地歴科)
花田 恵子先生
福岡西陵高校常勤講師より(理科)
田中 大介さん(技術吏員)
片江中学校より

福商会新入会員紹介

今春卒業し、新会員になった110回生の皆さんからコメントをいただきました。皆さんの入会を心から歓迎いたします。

1.氏名 2.福翔高校の思い出 3.進学・就職先 4.今年の抱負 5.これからの目標



3年1組

- 1 友成 いずみ (ともなり いずみ)さん
- 2 部活動、クラスでたくさん笑ったこと
- 3 (株)ダリア
- 4 早く会社に慣れて、立派な社会人の一員になる
- 5 必要とされる人材となる



3年2組

- 1 高橋 和希 (たかはし かずき)さん
- 2 野球部での3年間、研修旅行
- 3 (株)サニクリーン九州
- 4 自己主張がしっかりできる人間になる
笑顔を増やさない
- 5 野球部で学んだことをこの先の人生に活かし、立派な社会人になる



3年3組

- 1 島崎 恵 (しまざき めぐみ)さん
- 2 バスケット部でたくさんの方のことを学んだ
3組のみんなと過ごせた
- 3 中村調理製菓専門学校 製菓技術科
- 4 新しい環境に慣れて、多くの技術と知識を身につける
- 5 パティシエになって自分の店を持つ



3年4組

- 1 廣川 大貴 (ひろかわ だいき)さん
- 2 野球部での日々
- 3 西南学院大学 商学部経営学科
- 4 笑顔をふりまく
- 5 野球部で学んだことを胸に刻み、堂々と生きていく



3年5組

- 1 田中 篤 (たなか あつし)さん
- 2 今考えると、授業中・10分休み・掃除時間、そんな他愛もない日々が思い出です
- 3 東京成徳大学 応用心理学部
- 4 人として「情」を持ち、時代に流されない精神力をつける
- 5 やらない後悔より、やって後悔(何事も経験)



3年6組

- 1 玉岡 篤人 (たまおか あつと)さん
- 2 剣道部での3年間
- 3 日本体育大学
- 4 何事にも真っ正面から向かっていく
- 5 変えられていることに感謝し、恩返しできる大きな人間になる



3年7組

- 1 伊藤 綾祐 (いとう りょうすけ)さん
- 2 剣道部での3年間
- 3 近畿大学 産業理工学部建築デザイン科
- 4 早く大学生活に慣れ、勉強を頑張る
- 5 剣道をして学んだことを様々なことに活かしていく



3年8組

- 1 塚本 尚人 (つかもと なおと)さん
- 2 友達と過ごした3年間
- 3 熊本大学 理学部理学科
- 4 目の前のことに集中する
- 5 けじめを大切に充実した毎を送り、大学を楽しむ



3年9組

- 1 山崎 千尋 (やまさき ちひろ)さん
- 2 部活動のテニスと勉強の両立
- 3 福岡女子大学 国際教養学科
- 4 率先して物事に取り組む
- 5 限界を決めつけずに努力を惜しまない

福翔高等学校体育・文化部活動成績《平成23年12月～平成24年3月県大会以上》

体育 部

剣道部

- ◆福岡県高等学校新人剣道大会 12月11日(日)田川市総合体育館
(男子団体)○福翔 2-1 嘉穂 ○福翔 3-1 北筑 ※予選1位
準々決勝×福翔 1-3 筑紫丘 ※ベスト8
- (女子団体)○福翔 3-0 嘉穂 ○福翔 3-1 朝倉 ※予選1位
準々決勝○福翔 1-0 福岡第一
準決勝×福翔 0-1 中村学園
※ベスト4 九州選抜大会出場決定

◆大牟田市剣道連盟会長杯争奪高校剣道大会

- 12月28日(水)大牟田市民体育館
- (女子団体)○福翔 5-0 輝翔館 ○福翔 5-0 東筑紫学園
○福翔 4-0 白石 ※予選1位
[決勝トーナメント]
○福翔 3-1 鳳凰 ○福翔 4-0 福島
○福翔 1-1 福工大城東(代表戦)
[決勝]
○福翔 2-0 長崎西陵 ※2年連続優勝

◆平成23年度九州高等学校選抜剣道大会

- 2月18日(土)鹿児島県牧園アリーナ
- (男子団体)×福翔 1-2 大分(大分県第1位)
○福翔 1-2 鳳凰(鹿児島県第2位)
- (女子団体)○福翔 3-1 菊池女子(熊本県第3位) ※予選1位
○福翔 1-1 代表戦勝ち 日章学園(宮崎県1位)
×福翔 0-2 中村学園 ※ベスト4 2年連続3位入賞

男子サッカー

- ◆福岡県高校サッカー新人大会中部ブロック予選
1月8日(日)・9日(月)福翔高等学校
○福翔 2-1 筑紫丘

○福翔 0-0 新宮 PK7-6 ※県大会出場

◆福岡県高等学校サッカー新人大会福岡県大会

- 1月14日(土)・15日(日)
- [1回戦]○福翔 3-1 東筑 [2回戦]○福翔 5-3 嘉穂東
- [3回戦]×福翔 0-2 東筑 ※ベスト16

男子バスケットボール

- ◆福岡県バスケットボール新人大会 1月15日(日)久留米信愛
- [1回戦]○福翔 83-50 折尾愛真
- [2回戦]×福翔 84-107 福岡第一

女子バスケットボール

- ◆福岡市総合バスケットボール大会 2月4日(土)西南学院高校
- [3回戦]○福翔 68-55 九産大九州
- ◆2月5日(日)西陵高校
- [4回戦]○福翔 77-59 香椎
- [5回戦]○福翔 72-63 修徳館 ※優勝

女子バレーボール

- ◆新人戦中部地区予選 12月3日(土)太宰府高校
○福翔 2-0 魁誠 ○福翔 2-0 筑前 ※ベスト8 県大会出場
- ◆12月4日(日)糸島高校
×福翔 0-2 博多女子 ×福翔 0-2 香椎
- ◆新人中部地区予選 12月11日(日)柏陵高校
×福翔 1-2 福工大城東 ×福翔 1-2 純真
※ベスト8 県大会出場
- ◆バレーボール新人戦福岡県大会 1月28日(土)小倉南高等学校
○福翔 2-0 八女学院 ○福翔 2-0 大和青藍
- 1月29日(日)小倉南高等学校
×福翔 0-2 純真 ※県大会ベスト8

68回生
還暦合同同窓会

平成23年11月12日(土)にサンパレスホテルホールで、昭和45年3月卒業の68回生還暦合同同窓会を行いました。

遠くは被災地である福島から参加の平原君(8組)もあり、総勢145人の参加となりました。

8組の戸簾(旧姓)幸枝さんの司会で始まり、当時の担任の家人、石割両先生にご出席いただきました。また、福商会から高木副理事長、青木事務長にもご出席いただきました。東京にいる長勝盛君(2組)からの「参加できません残念無念」の祝電を披露しました。

40年ぶりに再会する姿も数多く見られ、60歳還暦を迎え、これから、もうひと頑張り



しようと決意した時間でもありました。

アトラクションとして林田統一郎君(70回生)の「シャンソンメドレーショー」がありました。また当日になり、急遽「フォーダンス」を踊ろうということになり、40年前に戻って3曲踊ったり、みんな元気で若々しく笑顔笑顔で素晴らしい楽しい3時間でした。

クラス集合写真を撮り、応援団の安武君(1組)のリードによる応援歌と校歌の斉唱。お開きには「祝いめでた」と「博多手一本」が入り、閉会となりました。二次会も同ホテルで行い、70人以上が参加して、大いに盛り上がった一日でした。

次回は卒業50年記念の同窓会を行うことになりましたが、少し間があきすぎるので途中で開こうという声もあがり、みんな再会を期しての還暦同窓会でした。

藤木 直幸(68回生)

40回生
天神、花万葉で同窓会

万葉の桜が襟の色：勇ましく宮門をくぐった若者も来年は、米寿のお祝いを受ける歳となりました。

振り返れば、何人かの友は大空の彼方に散り、またある者は戦野に若い命を捧げました。その後、年々鬼籍に入る人があり、直近の7人の物故者に黙祷を捧げ、それらの友を偲んでの40回生同窓会が平成24年4月10日、天神の花万葉で17人が集いました。

永年続いてきた同窓会でしたが、来年の米寿を機に一応の区切りをつけるかもしれず、

宴も盛り上がりました。

宴の終わりは恒例の応援歌で「世界の空気のうなつても」と高らかに歌い上げ、来年の米寿の会合を期待して、お開きとなりました。

野中 正十四(40回生)



53回生
節分会を堪能

2月3日、有馬氏の世話で東京・麻布台の霊友会本部で開催された「節分会豆まき祭」に53回生有志で参加した。11時ごろから会長以下相撲界、芸能界の有名な登壇で壇上から「福は内! 鬼は外!」の掛け声で恒例の豆まきが始まった。

会場に集まった数百人の手がどつと上がり



争奪戦開始。みんなも負けられんばいと手を伸ばしナイスキャッチしたり、じゅうたんに落ちた豆袋を手早く拾ったり。30分間ぐらい頑張つて10数個の豆袋がポケットいっぱいになった。ゲットした袋に番号がついているとさらに抽選で豪華賞品にありつくはず。しかし、番号つきが3人いたが残念ながら豪華賞品は当たらなかった。

楽しい豆まきの後はレクリエーションスタート。佐藤氏なじみの銀座の洋食店で軽くワインを味わって歓談。上機嫌で浅草寺へ。各自、思い思いの祈願を行い昼食。釜飯「春」で店自慢の五目釜めし、かき釜めしで至福の時間を過ごした。次は隅田川下りへと雷門近くの浅草橋へ向かう。ここから水上バスに乗船し、浜松町の日の出橋まで40分760円の遊覧となる。

55回生
卒業55周年記念同窓会

われわれ55回生の「卒業55周年記念同窓会」を去る3月16日(金)午後5時より、新装なった八仙閣で開催しました。

50歳の時に始まった学年同窓会も今回で6回目を迎え、盛大に行いました。

物故者に黙祷を捧げ、続いて来賓の挨拶、生徒代表の挨拶のあと記念撮影。いよいよ乾杯、懇親会が始まり、飲み放題の酒も歳のわりにはよく飲み、孫の話、健康の話、若き日の思い出に盛り上がり、あっという間に楽しい時が過ぎ、最後にわれらが誇る滝田博多山

この隅田川コースは吾妻橋、駒形橋、厩橋、蔵前橋、両国橋、新大橋、清洲橋(重要文化財)、隅田川大橋(二段構造橋)、永代橋(重要文化財)、中央大橋、佃大橋、勝鬨橋(重要文化財)と12の有名な橋をくぐって行くが、ガイドの説明を聞きながらあらためて船内から橋を見ると、それぞれ個性があつて面白かつた。

日の出棧橋に着くとそろそろ夕暮れ時となり、疲れも出てきたので浜松町駅喫茶店で休憩し幕を閉じた。

榊田 康義(53回生)

笠振興会会長の博多山一本で、めでたく終了しました。次の会は77歳の喜寿の時に開催する予定です。

永島 光雄(55回生)



福商高校卒業55周年記念同窓会
第55回生 昭和32年卒業 平成24年3月16日(金) 於八仙閣

トピックス

福翔高校剣道部女子寮
完成のご報告とお礼

福商剣友会会長川原英之君(74回生)から福商会理事長に対し福翔高校剣道部女子寮完成の報告と、寄付金のお礼のため福商会館に来館、寮の写真を持参しました。

お礼文は下記のとおり。

早春の候、貴殿におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。更には、日頃より剣友会の活動に對しまして温かいご支援を頂き心より感謝申し上げます。

さて、寮建設に伴う協賛のお願いをいたしましたところ、一般社団法人福商会より多大なるご支援を頂き誠にありがとうございました。

お陰をもちまして、寮生を迎えるべく立派な施設が完成いたしましたことをここに報告させていただきます。これもひとえに貴会のお力添えのお陰であると深く感謝申し上げます。剣友会といたしましては、皆様から頂きました

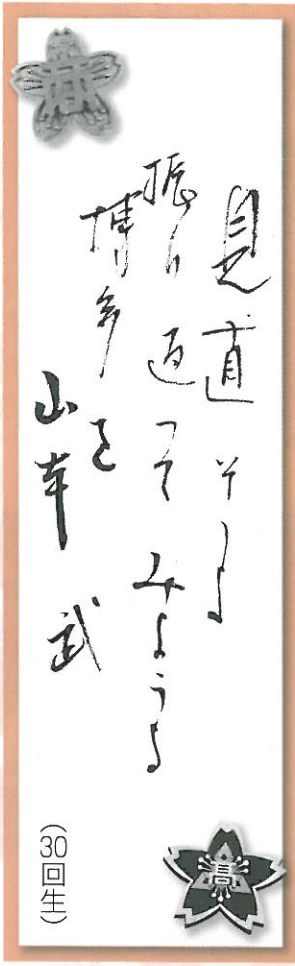
したご支援を無駄にすることなく、これからも福翔剣道部監督であります菊池先生と、更なる連携を図りながら、日本一を目指して日々精進している子どもたちを支援していくことをお約束しましてお礼に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。

川原 英之(74回生)





武士の間では、固い約束をするとき、したとき、武士の魂である太刀の鯉口を切り、カチンと音をたてて収め刀にかけ、約束ごとは守るという誓い事が行われていた。町人の間では、手締め（博多では手一本）と言っ形となった。博多の場合、お櫛田様に誓うと言っことである。博多の町の会合で重大なことを決めたとき、手を入れると言っのが重大な意味をもつものだ。



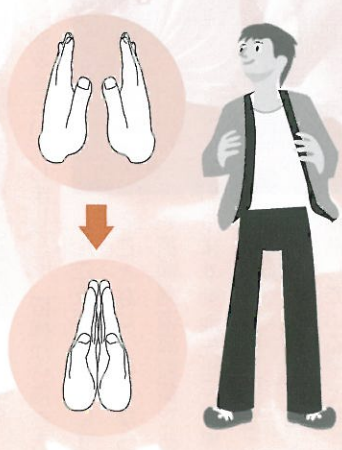
負けるな東北 がんばろう日本



写真提供 城南区 福井茂光氏

『博多手一本!!』瀧田 喜代三
型が今のようになつた時期は不明ですが、両足は肩幅の広さ、両足はそろえない。両手は、肩幅の広さとする。肩幅以上に広げない。横に居る人と接触するからである。

手のひらは10度とする。手のひらを上向きにしては、もらい手として貧相に見える。昨今、手うちについて良く見ていると、それらを守りきっていない人が多い。残念に思っています。特に肩幅以上に広げている人が多いと感じます。自分の存在感を見せるためかも知れません。格好よくありませんね。



このシリーズは「たまたま会」で企画しました。次回も楽しい企画を予定しています。

- 「たまたま会」のお知らせ
- 2012(平成24)年スケジュール
- 6月10日(日) 全国合同同窓会終了後二次会
- 11月29日(木) 紅葉狩り兼ねて忘年会

※どなたでもご参加下さい。
会長 大庭 貞子 (56回生)

同舟



往來

吉田 益美さん (旧姓八尋)

(別科10回生)



昭和33年3月に福
商高校(別科10回生)
を卒業された吉田さ
んを紹介します。

戦後(昭和23年)に新制高校となった福
商高校に1カ年修業の別科が新設されまし
た。1年でも早く社会に貢献できるよつに
と別科に入学された先輩は、片道3時間を
かけて通学され、大変な苦勞をされたそ
うです。

結婚を機に呉市に転居後20年余、税理士
事務所勤務されました。ご主人の定年退
職後、福岡に戻られ、平成11年に女性の視
点を生かすため宗像市議会議員に挑戦し、
初当選されました。現在、3期目で副議長
も平成20年11月から2年間務め、宗像市民
の皆様の意見を幅広く聞かれて活躍されて
います。

宗像ライオンズクラブに所属され、奉仕
の精神に富み、明るく元気で歌の好きな先
輩です。

今後、福商会さくら会の重鎮として活躍
していただきたい一人として、大いに期待
しています。

平田 哲子 (64回生)

阿部 勝喜君 (56回生)



56回生の阿部君を
紹介します。
昭和33年に協和銀
行(現りそな銀行)
に入行。5年間の博多支店在任後、東京
神奈川、埼玉、千葉県の支店など関東圏12
店で勤務。中でも新設、新築事業に数多く
取り組み、その能力を如何なく發揮。現役
の支店長時代「支店改革への挑戦」を出版
し、金融自由化の中での銀行の生き残り戦
術を披歴すると同時に、鹿児島銀行はじめ
福岡、西日本シティ銀行ほか数行でも講演
を展開した金融界の寵児です。

平成20年に、福岡に45年振りに帰郷。ゴ
ルフをして楽しんでます。彼のスイング
は超速く、あの速さでよく球を捉え飛距離
が出ると同僚たちは感心しています。写真
の腕前は福商時代に写真部に在部していた
こともあって、出来栄えは素人離れをして
ます。

平成20年の博多祇園山笠写真コンテスト
にも入賞。平成23年11月には「東京スカイ
ツリー」を撮りに東京に出かけるなど、そ
の徹底した目的意識と行動力には厳しい現
役時代に養われた完璧なまでの思考が伺い
知れる賢い人物です。

松本 忠敬 (56回生)

田竈 由美子さん (78回生)



「たごもり」さん
という珍しい名前の
彼女ですが、大学時
代にはゴルフ部、社
会人ではボディービ
ルなど女性には少ないスポーツをやってい
ました。

現在の職業は、明光義塾の七隈、南片江
の2教室を受け持ち、また(株)ランド・イー
ワーズという下着の代理店もされています。

昨年は、七隈教室を始めて20年の節目で、
青森県生まれの彼女は東日本大震災の復興
支援の一環として、キムタクのお母様の木
村まさ子さんを講師に「共育を考えるチャ
リティー講演会」を開催されました。当日
は、250人以上の来場者があり、盛会の
うちに終了しました。

福商会「さくら会」の皆様にも声をかけ
ていただき、当日の募金の総額は75万円を
超え、女性同士のつながりの深さを改めて
実感され感謝、感謝の一日となったそつで
す。

今回の講演会で、たくさんの方々にご縁
を頂き、多くのことを学び喜びを感じられ
た彼女です。

これからも人生を楽しくチャレンジされ
ている「たごもり」さんをよろしくお願
いいたします。

高田 崇子 (70回生)

加納 督大君 (101回生)



バスケットボールの
プロ選手でブリーグ
のライジング福岡に所
属している加納さんこ
とマサさんを紹介し
ます。

加納さんは福翔を卒業後、九州産業大学にす
すみました。2005年西日本学生バスケット
ボール大会では優勝に貢献し、2006年九州
学生バスケットリーグでは得点王となり最優
秀選手に輝いています。また、アンダー24日本
代表(九州学生からは初選抜)で韓国遠征に参
加するなど、バスケットボールに磨きがかかり
ました。

大学卒業の時期にプロバスケットボールチー
ムが福岡に出来ることを知り、バスケットボー
ルを極めたいという思いでトライアウト(試験
を受け、ライジング福岡へ入団しました。彼の
ポジションはガードでディフェンス面で相手の
キーマンをしっかり抑えるプレーを求められて
います。2010年11月18日の試合では1試合
10スティール(相手からボールを奪う行為)を
決め、ブリーグタイ記録を達成しています。

ライジング福岡でのプレーも5年を経て、加
納君のチームでの役割は毎年重要度を増してい
ます。

バスケットボールのファンの皆さん、是非と
も試合会場で、彼のプレーを見ていただき「背
番号21 Mas a」に熱い声援をお願いします。

実母の加納厚子さん(旧姓 関)も70回生です。

青木 進 (66回生)

桜 さくら会だより

さくら会は、誰でも気軽に参加できる会。皆さんの参加を是非お待ちしております。

ゲストを迎えて 「気楽な勉強会」

1月20日(金)「身近な税のアレコレ」と題して、吉田会計事務所・吉田扶久子先生(62回生)から、お話を拝聴しました。

福商時代、テマ部に所属していました。あの日、NHKで放送していた「世界の大学」を見て自由な大学にあこがれ西南大学に進学。その後税理士資格を取得されたとのことでした。



人生にも収支があり、簿記を知っているといいことは、堅実に生きていけるということとで、必要であるところ、一流陶芸家の方も言うていらした。ベトナムでは、簿記は「人生の宝」と称されていると。是非、簿記を学んで欲しいとのことでした。

確定申告をして税に疑問を持ち、税金の使い道についてムダ遣いをしていないか、チェックし関心を持つようになってほしい。税制の慣習を変えるのは難しいが、外国においては税に對しての権利、義務は強く打ち出されているが、日本は遅れているということでした。

知らなければ損をする。そんな世の中、勉強会をどんどんして欲しいです。吉田先生、さくら会に感謝感謝です。

山田 陽子(69回生)

を持ち、税金の使い道についてムダ遣いをしていないか、チェックし関心を持つようになってほしい。税制の慣習を変えるのは難しいが、外国においては税に對しての権利、義務は強く打ち出されているが、日本は遅れているということでした。



第一回 「グルメ巡り交流ツアー」

「博多名代 吉塚うなぎ屋 徳安 隆さん(67回生)のお店にお邪魔しました。

創業明治6年、福岡黒田藩の鍛冶屋をしてきたが、吉塚で産声を上げ、後に中洲へ移り百四十年の歴史とのこと。

天然うなぎは、黒潮に乗って鹿児島、宮崎、静岡で水揚げ。最近はいくらすが全く捕れなくて養殖物が一般的だそうです。

ふっくらと焼きあがった鰻と秘伝のタレに舌鼓を打ち、新築されて3年というお部屋で

☆気軽に参加できる会です。
 ☆あなたの出番を待っています。
 ☆一緒に楽しみましょう。
 ☆関心のある方は、
 福商会へ一報ください。



の会食は一時の桃源郷でした。

お忙しい中ではありましたが、うなぎの現況について拝聴。参加者一同の資質向上に貢献していただきました。

美味しい美味しいの連発に食事は盛り上がり、徳安さんを囲んで記念撮影。

今度はどの先事のお店に何うか楽しみみです。

高田 崇子(70回生)

線香・ローソク・お香・広告マッチ

株式会社 **中島晴薫堂**

代表取締役 会長 中島 勝敏 (55回生)

〒812-0044 福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
 〒854-0055 長崎営業所 諫早市小川町 700-49 TEL・FAX0957-21-0675

7-70にもいろいろあります...

福岡テープ株式会社

取締役 糸永 清二 (55回生)

福岡市博多区那珂3丁目2-4
 TEL 092-411-3929(代)

工業用テープ
 包装テープ
 梱包機・梱包資材
 カッティングテープ
 カット文字制作

創業124周年

imai PRINTING

代表取締役 今井 勝彦 (57回生)

今井印刷株式会社

〒812-0041 福岡市博多区吉塚7丁目3番70号
 TEL 092-624-8292 FAX 092-624-8293

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。



GENKI COMPANY

元氣印の企業紹介! vol.21

株式会社 堀江本店



目に付きにくい商品
しかし、無くてはならないモノ

代表取締役 堀江 徹 (75 回生)



筑紫野工場

38年前、野多目にある福岡商業高校に入学しマイナーな体育会系、山岳部に入部。当時学校周辺でランニングばかりやってたのでジャージ部とか遠足部とか、まともに見て貰えない体育部でした。昔の福岡山岳部は強かったらしく全国大会にも出場してたとか…

2年生になって、真面目に大会に出よう！と一大決心。われわれ福岡山岳部は体力は有りませんが頭が無い事に

気が付き、当時、地学を教えて頂いていた家入先生にお願いし、居残りで気象学を習い地区大会出場。見事6位に入賞。県大会の出場の切符を手に入れました。

その頃の部員は50歳を超えても山の中で同じ釜の飯を食った仲。顔を見れば何考えているか分かる仲間になってます。当時の先生方は「ミカン泥棒」と聞けばわれわれを良くご存知と思います。

会社は父、武(52回生)が創業し私で二代目です。本社は博多区金の隈に置き筑紫野市の工場でフィルム加工を主に食品包装資材の製造販売を行っております。地元福岡はもとより全国に出荷しています。皆様は当社の加工したフィルムに入った野菜を知らずにお買い求め頂いていると思います。



金の隈本社

薄いフィルムと申しましても開けて中身を出してしまえば単なるプラスチックゴミです。プラスチックフィルム業界は、売れば売ればゴミが増えるというジレンマがある業界ですが、現在は新しい素材を開発し澱粉を化学合成し、土に埋めれば微生物が分解してしまうフィルムもあります。普段の生活の中で、目に付きにくい商品を扱う業界ですが無くてはならないモノです。これからも皆様には気づかれなくとも『熱・意気・力』で社会貢献できる製品を創造する企業として日々努力して行きたいと思っております。

株式会社 堀江本店
〒812-0863
福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL 092(5)003-0121

株式会社 堀江本店 製品紹介

定番！生き生きパック。



環境に優しい防雲袋。15 ミクロンの薄くて丈夫なゴミ減量パック。



独自の特殊加工技術で強度と光沢を付与した「生き生きウッド」。紙のギフトボックスに比べて存在感があり木の持つぬくもりや優しい手ざわりがラッピングにこだわる若い世代にもぴったりです。贈り物にもいいですね。

会費納入者

(平成23年12月から3月未までご入金の方)

長期納入者

59年度まで

31 後藤長兵衛

56年度まで

60 富田 一幸

62 入江 淳

69 吉田 康一

52年度まで

48 中野恵美子

43年度まで

59 八尋 茂忍

64 久保 東彦

41年度まで

39 池見 楓雄

55 荒巻 和子

40年度まで

56 日野山信子

39年度まで

56 船越 光敏

63 森上 博次

38年度まで

66 山下 博司

37年度まで

54 篠原 隆義

56 印藤 昌修

58 藤井 宏一

伝 美代子

60 高木不二男

立山 初代

73 木庭しげ美

74 川原 英之

36年度まで

51 富永 照久

56 古賀 義孝

60 石川浩二郎

35年度まで

54 山本 徹

57 宇佐美 隆

61 田部篤二郎

34年度まで

65 上野 圭子

63 藤野 忠義

55 後藤 幹生

52 松本 清春

33年度まで

49 春山 耀子

52 三木 剛

53 森本 繁

56 阿部 悦子

57 安部 高

定28 西野 健司

32年度まで

52 藤野 光枝

52 内野 義弘

57 山口 政秀

59 浦部 孝美

61 横竹 正俊

65 川西加代子

67 松原 正和

106 波多江みち子

久原 佑介

31年度まで

43 吉村 龍典

51 大隈清三郎

久保山 繁

財津 徹伯

日高淳二郎

52 田中 昌夫

53 鹿兒島史浪

野原 伸之

萩尾 善彦

55 梅津 武敏

64 青木 英世

安河内維仁

89 菊池 忍

30年度まで

35 江島 俊助

52 西川 清春

55 松本 幹生

55 後藤 幹生

63 藤野 忠義

65 上野 圭子

63 田中 規子

65 上野 圭子

65 上野 圭子

29年度まで

63 安川 巖

39 飯田九州男

40 田中 範隆

40 田中 寛

41 持山 恵亮

42 渡邊健二郎

46 中村 門二

51 安川 正之

53 樺田 康義

54 齊田 貴典

57 佐々木正昭

58 速水 六輔

62 浦部夕子

63 石井みどり

68 吉村加代子

69 泉 講次

84 河野 三奈

山本 恭子

28年度まで

35 矢野与四郎

36 柴田 實夫

40 森 忠重

50 高木 正士

54 藤木 浩

57 後藤 和弘

柴田 信幸

堀内 英明

松田 光明

山野 元輝

大里 一生

58 山内 光

60 宮田 勝則

62 三好 健二

63 小西 幸治

66 野北 克之

70 中野貴久子

75 林田 芳隆

75 吉村 俊之

85 平塚みゆき

85 平塚みゆき

27年度まで

47 中島 繁之

45 田中 正博

47 常岡 孝

49 波多江順治

49 稻永 篤

50 宮本 文雄

50 花田 義和

51 吉岡 勝美

51 柴戸 昌行

52 福原 淳二

52 牛嶋 國光

52 中尾又三子

55 松崎 勝己

56 戸川 英二

59 伊藤 俊治

60 齋田 郁夫

60 岩隈 昌之

61 岡部 忠男

61 浜本 政明

62 山口 幸生

63 山本 勲

64 岡部 幸藏

66 穴見 健策

68 秋田リツ子

69 奥田賀代子

67 磯本 保

35 今村 慶子

36 堺 叔代

70 築地 精一

73 仲原 崇子

75 八尋 俊幸

75 関 賢二

81 古村 陽

86 藤原 秀徳

105 野原亜裕未

37 猪口 眞郎

40 堀 正憲

42 世利 広美

51 伊藤 由久

52 榎沼 敏治

53 藤木 淳弘

55 篠原 素

26年度まで

56 奈良崎 毅

56 矢部 進

58 長谷川幸子

58 野上 正

58 綾部与志郎

59 藤谷 敦子

59 宮地 隆之

60 榎本美智子

61 坂井美佐子

61 田村 清

61 樋口 和雄

62 高野 芳子

62 今林 弘子

63 佐藤ひろみ

65 高田 芳昭

66 小南千枝子

66 坂本 純一

67 坂本 純一

69 網島 利夫

72 松尾 光男

77 吉村 昌子

80 永野由加里

80 一木 榮子

108 田中 裕士

25年度まで

33 鳥山 昇

35 今石貞一郎

36 石橋 啓

39 下村 孝

41 藤 上次郎

43 平井哲三郎

43 山崎 義信

44 中原陽二郎

44 平野 良平

44 西島 善起

44 箱島 秀治

46 福田 吉雄

46 古屋 恒男

47 門田 洋一

50 津田 達昭

51 嶋田 正俊

51 谷口 英彦

24年度まで

69 秀嶋智恵美

70 野上 誠

71 武田 潤子

71 白岩富嗣子

72 吉良 渡

75 永翁 利成

75 築後谷幸則

79 秋吉 紀生

86 竹本まり子

106 長野 祐子

108 鎌田 慎司

109 禅院 裕人

中山 夏美

尾方 恵奈

坂井 貞雄

安部日呂司

65 高田 芳昭

66 小南千枝子

67 坂本 純一

67 坂本 純一

69 網島 利夫

72 松尾 光男

77 吉村 昌子

80 永野由加里

80 一木 榮子

108 田中 裕士

33 鳥山 昇

35 今石貞一郎

36 石橋 啓

39 下村 孝

41 藤 上次郎

43 平井哲三郎

43 山崎 義信

44 中原陽二郎

44 平野 良平

44 西島 善起

44 箱島 秀治

46 福田 吉雄

46 古屋 恒男

47 門田 洋一

50 津田 達昭

51 嶋田 正俊

51 谷口 英彦

23年度まで

69 秀嶋智恵美

70 野上 誠

71 武田 潤子

71 白岩富嗣子

72 吉良 渡

75 永翁 利成

75 築後谷幸則

79 秋吉 紀生

86 竹本まり子

106 長野 祐子

108 鎌田 慎司

109 禅院 裕人

中山 夏美

尾方 恵奈

坂井 貞雄

安部日呂司

65 高田 芳昭

66 小南千枝子

67 坂本 純一

67 坂本 純一

69 網島 利夫

72 松尾 光男

77 吉村 昌子

80 永野由加里

80 一木 榮子

108 田中 裕士

33 鳥山 昇

35 今石貞一郎

36 石橋 啓

39 下村 孝

41 藤 上次郎

43 平井哲三郎

43 山崎 義信

44 中原陽二郎

44 平野 良平

44 西島 善起

44 箱島 秀治

46 福田 吉雄

46 古屋 恒男

86	85	84	79	78	77	76	75	74	72	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	別14	60																											
上屋和子	大園奈津	安田美香	森峯子	今橋さと美	松尾和彦	佐野木洋子	安部幹子	國米和代	白石崇奈子	真弘多嘉子	阿部君代	古川千代子	安永節子	西原美喜枝	辻都	田中弥生	菊次弥生	今井富美	吉田登志夫	塩屋志津子	川嶋みみ子	伊藤みき子	金澤公夫	井上哲男	松口十四朗	福永恵子	吉井薫	森山良作	友繁良香	貞光美奈子	井上桂子	野村利幸	屋部憲次	井上清	國崎美智子	泉時子	古賀英子	三瀬美津代	益井健	平野雅彦	平尾誠	藤義昭	酒井正浩	緒方アツ子	樋口嘉子	樋口嘉子	中峰志津代	富永恵美子
62	61	59	別12	58	2	57	56	55	54	53	52	別5	51	別2	48	47	44	42	40	106	91	89	86																									
吉原廣治	森光博之	薄浦純子	金堀孝昭	原正道	花田勝彦	坂田成邦	大田昭子	山口トモ子	山口和子	石川暢一郎	寺嶋洋	知念典枝	武田重子	福与克己	牛島輝雄	伊藤忠輝	宮本信行	山本和子	溝口圭助	古賀哲次郎	松井敦子	中川俊子	貴道マユミ	阿利清美	竹井尚子	吉武英敏	永島光雄	阿部絹代	松本弘文	豊嶋良孝	森京子	北原千歳	田中知範	山口英子	山田ヤス子	原田サツ子	松島重吉	柴尾榮二	角勲親	西原聰介	篠原健次郎	23年度まで	前田直紀	安岡真紀子	西村陽子	深川由紀	花田由佳理	
77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63																																		
蛭崎朋子	松田和美	大塚恵子	浜里功司	森八重子	遠山英子	小橋桂一	青山弓子	藤野恵子	梅野悦子	林山陽子	松本聖子	益尾昌代	中野加代子	平山俊彦	三角豊和	林田恭子	松熊律子	奥田文代	古本栄三	藤尾光則	濱田和子	徳永裕美子	渡辺節子	古門澄江	藤岡信子	原文江	田中潮美	原浩吉	藤本新五郎	竹内光行	山村静子	宮本俊和	今林照公	直江由美子	田中房子	下川京子	高力誠	岸田忠男	川島徳久	久恒清美	青木綾子	森岡優	竹島保子	田島節雄	吉田扶久子	樋口恵美子	馬場力ツ子	
109	106	101	100	97	96	88	87	86	85	84	83	82	80	79	78	77																																
佐藤あずさ	塚本彩未	大崎成彦	寒竹麻衣子	山口浩平	瀬戸友里子	林山直子	西澤みゆき	橘直子	田代真由美	鳥飼希位	古賀潤一	中山浩一	岡崎孝徳	飯田靖大	藤本美紀	榎佳穂子	水谷さおり	松尾千香子	桜谷真由美	岡元恵美	吉岡聡	水上泰孝	津村千恵	松坂容古	嘉田直美	山本安男	春崎幸二	本村智子	佐藤美奈子	末吉美智子	飯田栄子	日野由美	平嶋良香	鈴木和美	斉藤友子	切通敦子	矢野四郎	因野正保	天野廣正	重岡来助	末岡正夫	武岡正夫	古石ひとみ	久保美津子				

平成23年度 卒業回生別会費納入者数一覧表

卒業回生	23年度	前年度	卒業回生	23年度	前年度
21~30	10	10	73	17	15
31	8	11	74	12	11
32	9	9	75	25	29
33	9	9	76	12	10
34	5	7	77	29	19
35	13	17	78	11	13
36	8	8	79	17	16
37	14	16	80	10	15
38	19	17	81	11	15
39	29	31	82	18	19
40	35	35	83	10	11
41	33	35	84	19	20
42	41	43	85	25	24
43	34	38	86	29	37
44-45	46	50	87	16	6
46-47	57	54	88	5	5
48	28	28	89	7	9
49	24	24	90	3	2
50	71	71	91	2	2
51	90	86	92	2	1
52	95	99	93	2	2
53	64	57	94	2	3
54	73	82	95	2	2
55	87	92	96	2	2
56	108	111	97	1	1
57	97	101	98	1	3
58	101	98	99	1	1
59	104	101	100	2	2
60	94	97	101	3	2
61	79	73	102	1	2
62	64	67	103	4	4
63	97	106	104	3	5
64	57	67	105	9	12
65	42	38	106	6	6
66	62	56	107	4	15
67	70	118	108	18	300
68	85	43	109	310	
69	46	57	別1~別15	25	25
70	40	89	定1~定43	17	22
71	16	17			
72	16	18	合計	2,773	2,874

平成24年3月31日現在

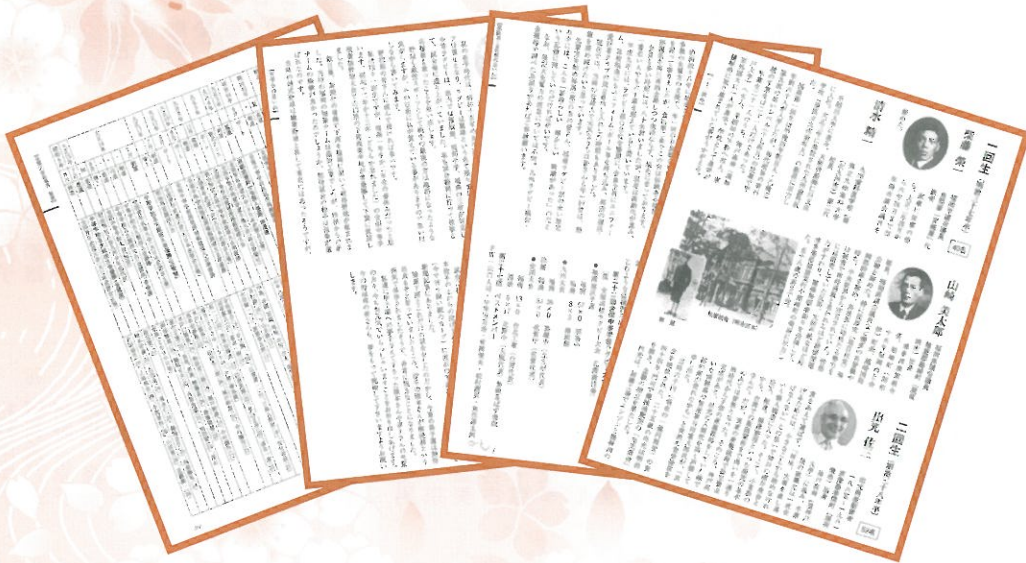
54	53	52	51	50	47	46	44	43	42	41	40	38	36	35	34	33	31						
岩隈	山徳	長崎	熊本	井上	高木	佐藤	中井	角山	糸山	山登	笹井	藤野	清野	龍島	三松	藤井	荒井	矢野	因野	天野	重岡	末岡	武岡
孝彦	文治	政助	主助	英総	久吉	克仁	成利	敷親	志雄	昇一	欣砂	菊義	善平	清一郎	團利	昌造	四郎	廣正	来助	正夫	正夫	正夫	正夫
H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
23	17	23	20	32	42	42	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
12	11	2	6	3	2	2	4	2	2	2	1	2	6	1	1	1	3	1	1	2	4	5	10
27	26	17	13	11	6	2	2	3	2	3	1	6	2	2	18	5	28	6	17	16	27	4	5
74	71	66	65	63	62	61	60	59	57	56	55	54											
城井	元田	安河	宮内	石田	上浦	三野	榎野	河野	山原	宮際	平山	中佐	関秋	中岡	関岡	吉田	村田	竹内	佐野	野野	博美	森中	
本上	木中	河内	子又	本田	浦野	野野	野野	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村	原村
珠美	康策	健子	節敏	耕子	満一	博俊	順之	富夫	政昭	徳雄	育子	猛行	信男	仁博	康之	和子	征司	実(清)	秀夫	秀夫	秀夫	秀夫	
		(福)	(小)				(福)								(向)	(井)	(井)	(井)	(井)	(井)	(井)	(井)	(井)
H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
24	22	42	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
4	7	4	2	1	1	3	3	1	1	1	5	9	1	2	1	1	7	5	2	1	1	1	1
3	2	7	4	9	1	5	6	10	8	3	13	5											

会員皆様のご協力に対し深く感謝し、厚くお礼申し上げます。
 会費は母校への奨学金給付、体育部奨励金の寄付等有益に運用させていただいております。
 これからも年会費の納入についてご協力賜りますようお願い申し上げます。
 なお会費納入のお願いを会報発行時に毎回お届けしておりますが、
 既に納入済みの方はご容赦下さい。

■物故者名 (前号より4月27日まで)

110周年記念史完成まじか! 記念史の概要をお知らせします。

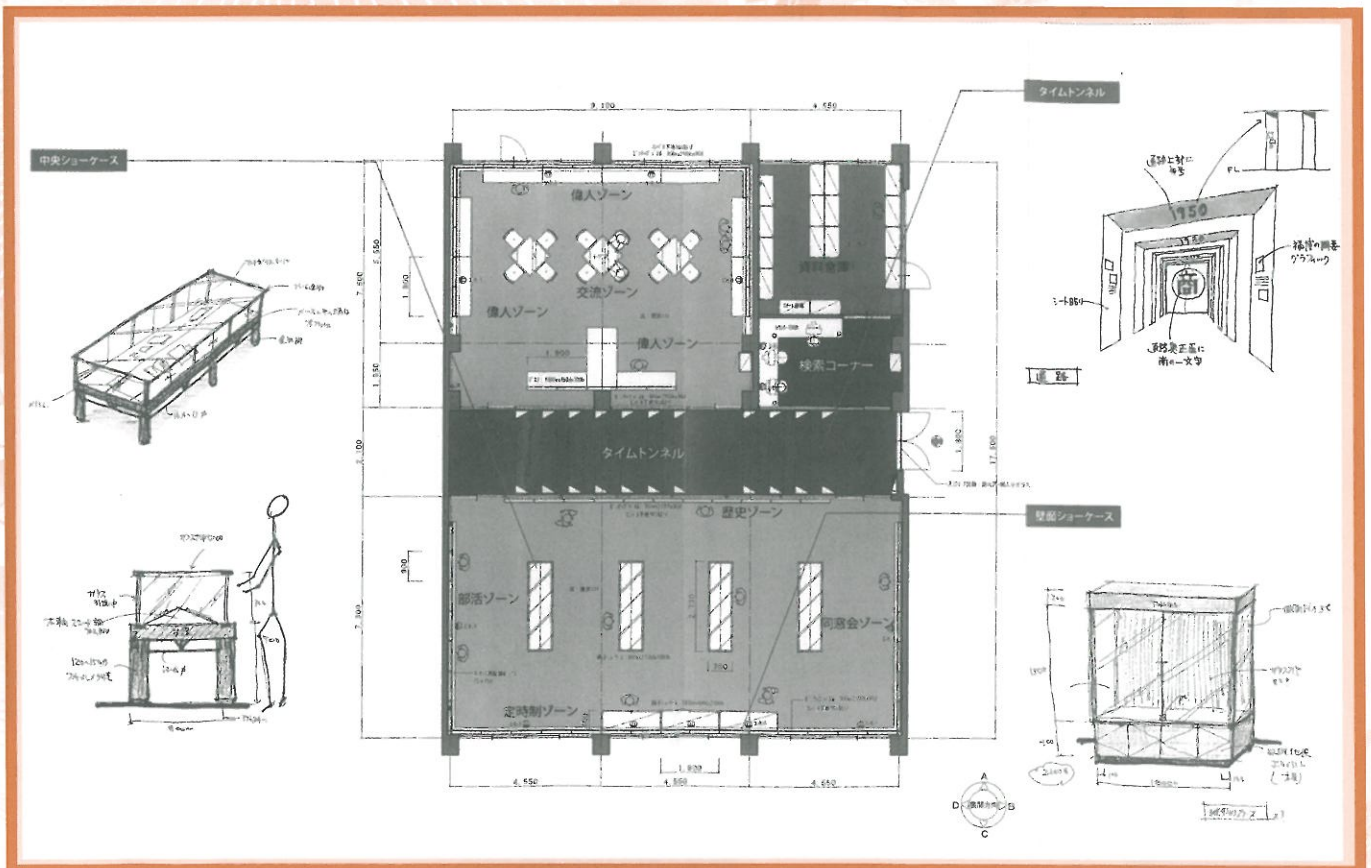
人物史、運動部 / 文化部の思い出、在校中の思い出、
部活動全国大会出場者一覧表



歴史資料室概要

●設置場所：福翔高校内

●完成予定時期：平成 24 年 9 月



百十周年記念事業

募金納入者

(平成23年11月から24年4月までご入金の方)

110周年記念事業にかかる募金期間の延長のお知らせとお願い

昨年11月より開始しました記念事業については、福商会の皆様がたに、多大なご苦勞をおかけしてありますことに深く感謝いたします。本年2月に開催した理事会で承認いただきました募金期間延長を、平成24年9月30日までといたします。

4月30日現在の募金総額は、18百万円になっております。目標25百万円まで残り5カ月間となりますが、各回生の皆様のご協力を得て、目標達成を目指しておりますので、再度、ご支援のほど切にお願い申し上げます。

なお、記念事業の現状は「記念誌」の発行を真近にひかえ、「福翔歴史資料室」は設置準備委員会を立ち上げ、9月末の完成を目指して福商会、福翔高校、施工業者と協議を重ねている状況であります。なにとぞ福商会会員の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、4月30日現在の各回生別募金状況と募金者一覧を掲載します。

一般社団法人 福商会理事長 山口 毅

- List of donors categorized by age group (e.g., 30回生, 31回生, 32回生, etc.) with names and surnames.

光安 義弘 萩尾 隆義 松岡 辰子 齋田 貴典 河村 準二 宮石 健司 稻永 照夫 坂本 徳俊 松田 洋一 藤木 浩 石寄智恵子 小田部達司 宮崎 浩之 大石 義信 田代 健治 小長光登美子 五島 嘉昭 55回生 下田 昌三 山本 昌三 秋山 要一 藤野 久和 石川 完治 牛尾 静雄 荒巻 和子 西村 英俊 瀧田喜代三 梅田 隆平 古城戸安秋 安河内 悟 米沢 二郎 西村 直大 関 修治 吉武 英敏 表谷 勝 安土 博章 金丸 勇 大和 正 森光 弘昭 結城 清之 北 嘉与子 平田 寶一 矢野 英二 梅津 武敏 三木 晃 今長谷 豊

奈良崎 毅 安武 浩之 山内 孝夫 泉 美也子 井上 節子 原 時恵 檜和田正子 松尾 茂子 柴田 雅弘 坂井 貞雄 池田 和彦 石田 忠義 市原美津子 後藤 幹生 森山 裕繁 浮田 泰夫 水谷 廣 瀬戸 潔 佐藤 直美 上村 浩 後藤 文宏 河野 弘子 播磨 浩三 内藤 京子 白水 英喜 渡辺 正孝 入江 照子 安部日呂司 大峯 徳男 乙藤 光之 北方陽一郎 篠隈 素 宅嶋 徳昌 中嶋 了介 松崎 勝巳 南原 勉 峯 記代子 溝口 敏子 宮崎五百子 安藤 盟子 又吉 当子 沖田喜代子 大谷喜美子 石田 昌道 秦 芳宣 松本 欽一 小嶋 敏子

高田奈津江 竹井 尚子 東野 勝江 富永智恵子 中尾 光子 結城千鶴子 森 康幸 甲斐 秀明 山口 完治 永島 光雄 佐藤 耕司 56回生 阿部 悦子 田中 國昭 原田 政幸 印藤 昌修 浮田 泰夫 成吉 幸一 三好 紀子 天野 勝 戸川 英二 安武 文明 藤崎 秋芳 百田 嘉弘 春日 正弘 古賀 敏勝 力丸 敏寿 小西日出子 後藤 和弘 原 朝代 有古久美子 大賀 孝徳 児嶋 律子 佐々木正昭 山野 元輝 八尋 紀子 光安 芳江 森 英敏 宇佐美 隆 古賀 高明 阿部 正昭 武内 幸子 仲尾次 弘 加隈 孝明 石橋 徹也 原野 保之 元田 恵子 山次 憲輔

神脇 純孝 57回生 吉木 良一 溝口 佳美 廣渡 順子 藤浦力ネコ 藤本マサ子 松本 良平 田中 勲 阿部 勝喜 西村 民子 鳥井 正義 豊嶋 昌代 長 和紀 結城 信弘 古宮 義明 鶴田 義孝 天野 辰慶 古賀 義孝 乙藤 光之 安部日呂司 小西日出子 力丸 敏寿 古賀 敏勝 春日 正弘 山田 康夫 光安 秀子 安河内 徹 後藤 和弘 原 朝代 有古久美子 大賀 孝徳 児嶋 律子 佐々木正昭 山野 元輝 八尋 紀子 光安 芳江 森 英敏 宇佐美 隆 古賀 高明 阿部 正昭 武内 幸子 仲尾次 弘 加隈 孝明 石橋 徹也 原野 保之 元田 恵子 山次 憲輔

松本 慎吾 居石 和之 奈良崎正高 門田 邦夫 阿部 弘美 渡辺 早苗 平島 健二 持田 一臣 柴田 信幸 上野 裕基 清水 将英 松井 俊之 廣川 時男 梶塚 清 滝 芳弘 多田 靖彦 西嶋 政治 松岡 瑞 安河内義孝 吉村 公良 渡部 勉 今井 勝彦 越智 英之 山田 康夫 光安 秀子 安河内 徹 後藤 和弘 原 朝代 有古久美子 大賀 孝徳 児嶋 律子 佐々木正昭 山野 元輝 八尋 紀子 光安 芳江 森 英敏 宇佐美 隆 古賀 高明 阿部 正昭 武内 幸子 仲尾次 弘 加隈 孝明 石橋 徹也 原野 保之 元田 恵子 山次 憲輔

中村喜八郎 水戸 利枝 林 淳之祐 前原 宏昭 下門 栄子 徳久 和子 納富満智子 福田 洋子 松藤サ子子 粕井 妙子 山田 泰子 吉田亜紀子 石井 一雄 伊藤 忠輝 大部 和文 梶谷 照彦 川崎 輝男 高野 征男 中山 雅雄 橋本 政雄 福与 克己 佐々木正和 篠隈 光彦 柴田 光男 下川邊菱一 末松 勇三 椿原 靖夫 西田 進 西村大戸志 原田 松美 松藤 耕三 森 彬 山内 光 大川内栄子 大数 澄子 高橋 容子 常岡 静香 福田 蓉子 赤坂 勝祥 秋丸 武士 井浦 敏和 岡部 信義 児島 信義 小島 南男 篠崎 貞義 松島 輝通 松山 元弘 荒尾 保之 入江 保子

泉 栄之助 58回生 泉 栄之助 佐々木正和 篠隈 光彦 柴田 光男 下川邊菱一 末松 勇三 椿原 靖夫 西田 進 西村大戸志 原田 松美 松藤 耕三 森 彬 山内 光 大川内栄子 大数 澄子 高橋 容子 常岡 静香 福田 蓉子 赤坂 勝祥 秋丸 武士 井浦 敏和 岡部 信義 児島 信義 小島 南男 篠崎 貞義 松島 輝通 松山 元弘 荒尾 保之 入江 保子

金丸 敏恵 今野 和代 寺地 洋子 高橋 洋子 中島 和子 橋本 牙子 正木 幸子 南 公子 矢次 朝子 井上 興治 井本 健造 上杉 百正 柴田 利広 白木 英治 平 慶典 高瀬与志郎 中川 洋介 橋本 巖 山見坂 晴 吉田 和男 梅本 昭子 武田 重子 荒木 浩輔 井上 光彦 沖村 篤 加来 将昭 佐々木 均 角田 満子 藤 勝己 蛭間 祥之 藤井 宏一 松浦 豊喜 森山 征樹 吉原 隆雄 船越 弘子 本田香代子 山本 章子 熊添 勇夫 長野 哲也 福田 秀美 福田 克己 宮川 一馬 結城 嘉勝 龍 修一郎 岡本 房子 片山 和子 笠井喜代子 刘茅 初美 黒岩 友子 近藤 睦子

柴田眞理子 田所嘉代子 傳 美代子 古川 伸子 松本夕三工 山岸美恵子 秋吉 年春 麻生 武三 石崎 和敏 堺 恭之 清水 勝人 谷口 純洋 西村 愛蔵 久野 卓治 平野 善之 戸次 脩 真鍋 仁輔 山口 利勝 安部喜美子 岩瀬 淳子 堺 八重子 末松 秀子 森 敏子 吉田由紀子 曾木 東城 満生 博文 吉浦 義臣 高橋 哲二 藤 昌廣 池田 健二 秋山 聡 広渡 節雄 宮川 隆 仲山 博文 井上 孝史 野口 茂忍 羽瀬工三子 山口 和子 国崎 和子 齋田 郁夫 山下 正隆 吉住 正隆 柳池 啓伯 水上 敏寿 那須 寿幸 高木 直幹 川添 隆司 福田 克己 宮川 一馬 結城 嘉勝 龍 修一郎 岡本 房子 片山 和子 笠井喜代子 刘茅 初美 黒岩 友子 近藤 睦子

安松 昭一 森 武紀 河野加代子 森 勝美 江崎 征二 野地 昭男 権藤 国栄 中村 忠子 石崎 和敏 堺 恭之 清水 勝人 谷口 純洋 西村 愛蔵 久野 卓治 平野 善之 戸次 脩 真鍋 仁輔 山口 利勝 安部喜美子 岩瀬 淳子 堺 八重子 末松 秀子 森 敏子 吉田由紀子 曾木 東城 満生 博文 吉浦 義臣 高橋 哲二 藤 昌廣 池田 健二 秋山 聡 広渡 節雄 宮川 隆 仲山 博文 井上 孝史 野口 茂忍 羽瀬工三子 山口 和子 国崎 和子 齋田 郁夫 山下 正隆 吉住 正隆 柳池 啓伯 水上 敏寿 那須 寿幸 高木 直幹 川添 隆司 福田 克己 宮川 一馬 結城 嘉勝 龍 修一郎 岡本 房子 片山 和子 笠井喜代子 刘茅 初美 黒岩 友子 近藤 睦子

山下 博司 青木 進 波多江隆幸 川原のぶ子 中野貴久子 永野 秀治 66回生 桐谷 泰幸 井上 透 石松 幸男 高田 善政 川西加代子 上野 主治 市川 隆通 河原 重勝 杉山るみ子 川原 三泰 吉富 晶子 櫻本 恵 65回生 森山 良作 安河内維仁 森岡 優 前川 博行 安河内敬一 内野恵美子 池添 昇 平田 哲子 平田 稔樹 大崎 順子 上木 節子 上木 政章 稲益 政晴 村上 裕子 村山 芳子 友岡 元紀 久保 東彦 吉井 薫 吉瀬美恵子 64回生 田村登美子 井上 桂子 野村 利幸 井上 桂子 石井志津子 宇土 健治 大橋 信午 岡尾 末子 徳重 久雄 穴見 健策 香川 壽 奥田賀代子 井手 憲子 木林 顕博 津田 仁 平松 秀敏 池辺とし子 松永 英助 天本 正昭 合原 明子 山内 房子 富永 滋夫 松田美千子 山田 芳江 西村 広志 山下 久和 杉村工三子 中山 利美 下川佳代子 佐藤 律子 井手 洋 吉住 英男 黒田きよみ 伊藤 絹子 波多江勝久 山本 恵美 野口 秀隆 穴井 和子 林 美知子 秋田リツ子 吉井 幸子 波多江隆幸 辻 良子 前崎 享一 郡田 純一 岩崎恵津子 平田美恵子 67回生 塩川加代子 酒井 美鈴 畑島 文博 角 桂子 70回生 岡崎 芳枝 吉村 春代 奥田 文代 泉 講次 長崎 早苗 浦生 博子 柴田 重徳 69回生 安武 修二 上田 信子 藤岡 信子 牟田 學 木下 鈴子 松崎 恵子 井上 廣子 森中 周子 藤本 浩吉 68回生 藤田 三枝子 浦田三枝子 今崎 邦香 添田 敏夫 志波 芳則 志波 隆 徳安 洋一 今泉 和美 猪野 忠孝 山下 哲雄 波多江みち子 中村 康子 佐々木美恵子 今林 照公 今村 慶子 金澤 公夫 磯本 保 吉田能里夫 濱島英利子 嶋田 茂 西 裕子 稲永 昇 吉武より子 吉武 節子 西原美喜枝 小野 勇夫 三角 豊和 柳橋 芳子 渡口 史郎 野上 誠 松本千代子 園田 和枝 71回生 安武 孝子 南原 茂 白岩富嗣子 村上喜三子 坂井 幸治 72回生 中洲 弘子 安永 節子 永翁 利成 林田三津子 吉村 昌子 73回生 高木 隆治 八尋 俊幸 木庭しげ美 桑原 平磨 神宮玄二郎 野口 嘉孝 74回生 萩尾美恵子 梅野 陽子 川原 英之 小城 優子 築後谷幸則 堀江 徹 吉村 俊之 関 賢二 矢野末子伸 後藤 正徳 田代 典子 山本やよい 溝口 忍 岡崎みさ子 久田 史規 船越 一人 高江 毅 林 深雪 瀧川みち子 酒井香代子 武谷 裕子 永井あけみ 白石 秀子 岩田千香子 安永 陽子 伊藤 靖子 阿部 君代 浅見 智子 松尾 弘子 田上 京子 草原 深雪 小野 達子 老松 達子 寺本 恵子 春野寿美子 花田 君子 坂井 千春 田代 恵子 安河内由美子 松下 由美子 柳 美栄 縫田真智子 三好 純子 大石 文子 日丸こずえ 道善 早苗 中園 良重 川村 敬子 古賀 政子 大和 薫 永尾 素子 上野三三男 青木 洋介 白水 清道 川上 睦美 若松美恵子 村上 雅洋 西嶋 仲次 藤原 千広 宮脇三和子 山崎 玲子 桐合かほる 中村 慶子 遠山 英子 明永 恭子 日下 久美 小橋 桂一 佐藤 俊哉 中原 裕子 西島 明美 山本 明子 徳田美由紀 齋藤 智子 76回生 平 京子 77回生 森 充子 山倉 厚子 山名 博史 鳥飼 俊宏 鳥飼 悠子 平野貴美代 大塚 恵子 大野真寿美 貞弘多嘉子 78回生 安部 幹子 松本 秀明 浜 覚 狩野 昌子 野村木乃美 佐野木洋子 79回生 松尾 和彦 池田 理恵 今橋さと美 秋吉 紀生 平田 美志 森 峯子 市村さつき 上野多恵子 濱川 直子 山崎さとみ 江口 須美 横尾 須美 渡辺美由紀 一木 栄子 81回生 川越 多江 原田 広海 中野久美子 82回生 飯田 栄子 古川 清美 山元ゆかり 大賀 浩二 半田 節子 83回生 富永 暁代 児玉 三子 岡部三三子 林 博文 野田範海意 田尻トモ工 山本 恭子 津田佐代子 村山 和博 山本 由美 85回生 山本 由美 86回生 羽野 顕子 井上 清織 松尾千香子 榭 佳穂子 87回生 山田 裕介 岡崎 孝徳 梅崎 直子 88回生 平山康一郎 89回生 富永 強 羽野 幸子 菊池 忍 90回生 石井 雅太 91回生 森田 俊夫 安岡真紀子 馬場 由紀 94回生 藤野 光枝 緒方アツ子 八丸恵巳子 吉田 益美 98回生 篠原 祥泰 100回生 山口 浩平 101回生 清田 創 105回生 打越 隆誠 豊田 晶 池田 優佳 長坂聡士郎 野原亜裕未 林 麻希 106回生 久原 佑介 前田 直紀 大崎 成彦 108回生 藤村 優 109回生 藤村 宣幸 廣兼 恵奈 尾方 恵奈 井上 睦巳 桜井 茂子 藤野 光枝 緒方アツ子 八丸恵巳子 吉田 益美 109回生 藤村 優

安部 雪江 松本 広子 伊東 輝世 角 桂子 70回生 岡崎 芳枝 吉村 春代 奥田 文代 泉 講次 長崎 早苗 浦生 博子 柴田 重徳 69回生 安武 修二 上田 信子 藤岡 信子 牟田 學 木下 鈴子 松崎 恵子 井上 廣子 森中 周子 藤本 浩吉 68回生 藤田 三枝子 浦田三枝子 今崎 邦香 添田 敏夫 志波 芳則 志波 隆 徳安 洋一 今泉 和美 猪野 忠孝 山下 哲雄 波多江みち子 中村 康子 佐々木美恵子 今林 照公 今村 慶子 金澤 公夫 磯本 保 吉田能里夫 濱島英利子 嶋田 茂 西 裕子 稲永 昇 吉武より子 吉武 節子 西原美喜枝 小野 勇夫 三角 豊和 柳橋 芳子 渡口 史郎 野上 誠 松本千代子 園田 和枝 71回生 安武 孝子 南原 茂 白岩富嗣子 村上喜三子 坂井 幸治 72回生 中洲 弘子 安永 節子 永翁 利成 林田三津子 吉村 昌子 73回生 高木 隆治 八尋 俊幸 木庭しげ美 桑原 平磨 神宮玄二郎 野口 嘉孝 74回生 萩尾美恵子 梅野 陽子 川原 英之 小城 優子 築後谷幸則 堀江 徹 吉村 俊之 関 賢二 矢野末子伸 後藤 正徳 田代 典子 山本やよい 溝口 忍 岡崎みさ子 久田 史規 船越 一人 高江 毅 林 深雪 瀧川みち子 酒井香代子 武谷 裕子 永井あけみ 白石 秀子 岩田千香子 安永 陽子 伊藤 靖子 阿部 君代 浅見 智子 松尾 弘子 田上 京子 草原 深雪 小野 達子 老松 達子 寺本 恵子 春野寿美子 花田 君子 坂井 千春 田代 恵子 安河内由美子 松下 由美子 柳 美栄 縫田真智子 三好 純子 大石 文子 日丸こずえ 道善 早苗 中園 良重 川村 敬子 古賀 政子 大和 薫 永尾 素子 上野三三男 青木 洋介 白水 清道 川上 睦美 若松美恵子 村上 雅洋 西嶋 仲次 藤原 千広 宮脇三和子 山崎 玲子 桐合かほる 中村 慶子 遠山 英子 明永 恭子

林 深雪 高江 毅 船越 一人 久田 史規 岡崎みさ子 溝口 忍 山本やよい 田代 典子 後藤 正徳 矢野末子伸 関 賢二 吉村 俊之 堀江 徹 築後谷幸則 小城 優子 川原 英之 梅野 陽子 萩尾美恵子 74回生 萩尾美恵子 梅野 陽子 川原 英之 小城 優子 築後谷幸則 堀江 徹 吉村 俊之 関 賢二 矢野末子伸 後藤 正徳 田代 典子 山本やよい 溝口 忍 岡崎みさ子 久田 史規 船越 一人 高江 毅 林 深雪

明永 恭子 遠山 英子 中村 慶子 桐合かほる 山崎 玲子 宮脇三和子 藤原 千広 西嶋 仲次 村上 雅洋 若松美恵子 川上 睦美 白水 清道 青木 洋介 上野三三男 永尾 素子 大和 薫 古賀 政子 川村 敬子 中園 良重 道善 早苗 日丸こずえ 大石 文子 三好 純子 縫田真智子 柳 美栄 松下 由美子 安河内由美子 田代 恵子 坂井 千春 花田 君子 寺本 恵子 春野寿美子 老松 達子 小野 達子 草原 深雪 田上 京子 松尾 弘子 浅見 智子 阿部 君代 伊藤 靖子 安永 陽子 岩田千香子 徳田美由紀 齋藤 智子 76回生 平 京子 77回生 森 充子 山倉 厚子 山名 博史 鳥飼 俊宏 鳥飼 悠子 平野貴美代 大塚 恵子 大野真寿美 貞弘多嘉子 78回生 安部 幹子 松本 秀明 浜 覚 狩野 昌子 野村木乃美 佐野木洋子 79回生 松尾 和彦 池田 理恵 今橋さと美 秋吉 紀生 平田 美志 森 峯子 市村さつき 上野多恵子 濱川 直子 山崎さとみ 江口 須美 横尾 須美 渡辺美由紀 一木 栄子 81回生 川越 多江 原田 広海 中野久美子 82回生 飯田 栄子 古川 清美 山元ゆかり 大賀 浩二 半田 節子 83回生 富永 暁代 児玉 三子 岡部三三子 林 博文 野田範海意 田尻トモ工 山本 恭子 津田佐代子 村山 和博 山本 由美 85回生 山本 由美 86回生 羽野 顕子 井上 清織 松尾千香子 榭 佳穂子 87回生 山田 裕介 岡崎 孝徳 梅崎 直子 88回生 平山康一郎 89回生 富永 強 羽野 幸子 菊池 忍 90回生 石井 雅太 91回生 森田 俊夫 安岡真紀子 馬場 由紀 94回生 藤野 光枝 緒方アツ子 八丸恵巳子 吉田 益美 98回生 篠原 祥泰 100回生 山口 浩平 101回生 清田 創 105回生 打越 隆誠 豊田 晶 池田 優佳 長坂聡士郎 野原亜裕未 林 麻希 106回生 久原 佑介 前田 直紀 大崎 成彦 108回生 藤村 優 109回生 藤村 宣幸 廣兼 恵奈 尾方 恵奈 井上 睦巳 桜井 茂子 藤野 光枝 緒方アツ子 八丸恵巳子 吉田 益美 109回生 藤村 優

明永 恭子 遠山 英子 中村 慶子 桐合かほる 山崎 玲子 宮脇三和子 藤原 千広 西嶋 仲次 村上 雅洋 若松美恵子 川上 睦美 白水 清道 青木 洋介 上野三三男 永尾 素子 大和 薫 古賀 政子 川村 敬子 中園 良重 道善 早苗 日丸こずえ 大石 文子 三好 純子 縫田真智子 柳 美栄 松下 由美子 安河内由美子 田代 恵子 坂井 千春 花田 君子 寺本 恵子 春野寿美子 老松 達子 小野 達子 草原 深雪 田上 京子 松尾 弘子 浅見 智子 阿部 君代 伊藤 靖子 安永 陽子 岩田千香子 徳田美由紀 齋藤 智子 76回生 平 京子 77回生 森 充子 山倉 厚子 山名 博史 鳥飼 俊宏 鳥飼 悠子 平野貴美代 大塚 恵子 大野真寿美 貞弘多嘉子 78回生 安部 幹子 松本 秀明 浜 覚 狩野 昌子 野村木乃美 佐野木洋子 79回生 松尾 和彦 池田 理恵 今橋さと美 秋吉 紀生 平田 美志 森 峯子 市村さつき 上野多恵子 濱川 直子 山崎さとみ 江口 須美 横尾 須美 渡辺美由紀 一木 栄子 81回生 川越 多江 原田 広海 中野久美子 82回生 飯田 栄子 古川 清美 山元ゆかり 大賀 浩二 半田 節子 83回生 富永 暁代 児玉 三子 岡部三三子 林 博文 野田範海意 田尻トモ工 山本 恭子 津田佐代子 村山 和博 山本 由美 85回生 山本 由美 86回生 羽野 顕子 井上 清織 松尾千香子 榭 佳穂子 87回生 山田 裕介 岡崎 孝徳 梅崎 直子 88回生 平山康一郎 89回生 富永 強 羽野 幸子 菊池 忍 90回生 石井 雅太 91回生 森田 俊夫 安岡真紀子 馬場 由紀 94回生 藤野 光枝 緒方アツ子 八丸恵巳子 吉田 益美 98回生 篠原 祥泰 100回生 山口 浩平 101回生 清田 創 105回生 打越 隆誠 豊田 晶 池田 優佳 長坂聡士郎 野原亜裕未 林 麻希 106回生 久原 佑介 前田 直紀 大崎 成彦 108回生 藤村 優 109回生 藤村 宣幸 廣兼 恵奈 尾方 恵奈 井上 睦巳 桜井 茂子 藤野 光枝 緒方アツ子 八丸恵巳子 吉田 益美 109回生 藤村 優

回生	金額	回生	金額	回生	金額	回生	金額
27		50	444,000	73	50,000	95	
28		51	300,000	74	35,000	96	
29		52	3,582,000	75	414,000	97	
30	40,000	53	340,000	76	5,000	98	5,000
31	10,000	54	302,000	77	42,000	99	
32	10,000	55	791,000	78	40,000	100	5,000
33	10,000	56	410,000	79	35,000	101	5,000
34	20,000	57	588,000	80	50,000	102	
35	20,000	58	630,000	81	30,000	103	
36	20,000	59	235,000	82	40,000	104	
37	20,000	60	1,380,000	83	25,000	105	30,000
38	70,000	61	600,000	84	45,000	106	15,000
39	3,240,000	62	400,000	85	60,000	107	
40	200,000	63	175,000	86	70,000	108	5,000
41	235,000	64	460,000	87	15,000	109	15,000
42	170,000	65	120,000	88	5,000	別科	57,000
43	100,000	66	270,000	89	20,000	定時制	27,000
44	203,000	67	260,000	90	5,000	福翔	60,000
45	140,000	68	100,000	91	10,000	不明	10,000
46	230,000	69	80,000	92			
47	92,500	70	130,000	93			
48	80,000	71	50,000	94	5,000		
49	100,000	72	50,000	総合計			17,942,500

平成24年4月30日現在

追悼 丸田 淳先生



元福岡商業高校 教諭 国漢担当（昭和25年3月～昭和59年3月在籍）

山地政美（50回生）

教育者 丸田先生のおもかげ
— 寂しさの果てなむ国ぞ —

福商春の例会・縦の会は、2月3日に八仙閣で開催。今年は大塚重敏氏（52回生）が来福、講話されると知らせがあった。

氏は私よりも2学年後の卒業で、在学中の3年間を丸田先生から直接ご指導いただいているので、私の知らないエピソードもあるかと楽しみに参加した。

氏は丸田先生から教えて頂いたことを自分の足跡を押さえながら振り返り、多方面から母校と恩師の教えが心の支えであったことを語られた。参加者も母校の思い出とともに感動をもって聞かれたのであろう。大きな拍手送った。

話が終わり、懇談の時、丸田先生をお見舞いしたいと、翌日2人で病院を訪れることにした。

病院は、面会謝絶と言った。しばらく容体を見て良くなれば教えてほしいと待つことにし、医師の好意で漸く面会が出来た。ベッドに起きられて話すうち、次第に顔色も赤味がさして良くなり、声も大きく、2人とも安心

したが、お体を案じ、また会いに来ますと病室を後にした。

先生は手をあげて見送られた。

一期一会

その後の9日の未明、先生は眠るがごとく世を去られた。お生まれが大正13年2月9日で、今年88歳の誕生日で、誠に几帳面な決別であった。

私どもと先生の出会いは、2年の担任からで、61年の歳月が流れている。先生は26歳の青年教師であり、わずか7、8歳下の腕白少年ども。大戦の敗北を真に受け、教師は軍服、子弟は素足でけなげに生きる。後輩を見ながら如何なる心境であったことであろうか。

先生のご専攻は国文学であり、国学院大学を卒業されていたので、詩歌、短歌、俳句など多方面にわたって、漢学にも造詣が深かった。特に近世における国学・水戸学や、その流れを汲む幕末の志士、吉田松陰や真木和泉守、平野国臣などを敬慕されていた。

また、学校では文芸部、新聞部、校友会誌など指導と編集に従事されている。特に新聞部については幾たびか入賞して、喜んでおられたことを思い出す。

学者と教育者

先生は学者と言つよりは、むしろ教育者であった。いくつかの著書はあるが国文学や歴史学の研究の中から世を憂い、人物の育成に力を注がれていた。あるとき教育者の任務を説かれ、子弟の教育に、①世の中に自活していける力を養つ②人たるの道をふみゆく事を得得する③の2点を説かれ、水戸の弘道館述義などを示して「人よく道をひろむ」と物と人を大事にし、助け合うことを求められた。また支那と日本の異なる点を指摘され、支那は言語を重んじ、日本人は物を重んじる国だと説かれた。言は物や心を表すが、物は具体的に存在する。その最も貴重なものとして人を大切にしてきた。先生は常に生徒に向かって親を大切にせよ、心配をかけるなと戒められた。現在、孫や子どもを思つて傘寿を迎え、自ら亡き親への対応を顧みて、教育の重大さを反省している。

深い歌びころ

私どもは卒業後も度々教えを頂いたが、歌人としても造詣が深く、退官後は護国神社で、万葉集講義を担当し、時事問題の講演もされていた。同窓会には努めてご出席を頂いたが、

不参加の時には和歌を寄せられた。卒業50年記念の同窓会には――

秋の日の 深みゆくがに 青春の
思い出を追つ よき日にぞあれ
一口に 五十年といふ 思へば
山あり谷あり 川もありけむ
山河はるけく 越えてきて
思ひは切なく深くしあらむ

また古希の祝賀同窓会に――

古希を越え 日々好日と 過ごす身を
共にぞ祝わむ この年もまた
百歳は 夢にはあらず 凜として
生きてぞいかな 相とどもに

の和歌を頂いた。これらの歌を拝見したとき山あり、谷あり、川ありの人生を生き抜く子弟を案じられる教育者の果てしなき思いを有難く感じた。

そもそも教育者の喜びとは何か。丸田先生のご逝去で一挙にせまるものは、先生が何を願われ、何を教えられ、何を継承すべきかと問われていたことを思うからである。ありし日の数々のお話を思い浮かべては、学者は自

己の学問を子弟が継承し世の中に活用する姿に喜びと安心を得るといふ。しかし丸田先生は一専門教師としての枠を超え、遙かなる国の歴史の中に参入し、歴史の中に輝く先人の偉業を学び、子弟の行方を案じ、国の行方を託そうとされたのであった。

学者と教育者

ある日、おまえは牧水を知っているかと突然言われた。

宮崎の出張が多く、若山牧水の生誕地を訪ねたことがあり、幾つかの和歌を申し上げたが、先生は有名な一首を詠まれた。

幾山河 越え去りゆけば 淋しさの
果てなむ国ぞ 今日も旅ゆく

この歌は教育者としての私の心境であるとされる。一生を傾けつくした学問と現代日本の混沌との中に、教育正常化に尽力される先生の心境が示され麻っていた。先生の御親友の朝永清之氏も和歌に

教育の 正道求め 長年を
励み給いし いたつき徳はゆ
凜と咲く 寒梅のごとく すがやかな
お姿つとに 懐かしきかな

誠に幾山河、遙かに越えて来られた88年の人生。

祖国と青年への祈り。思いは切なく内に秘め、先生は人爲のなすべき事をなして終わり、寒梅のごとく凜として我らの胸に余香を留め

られた。

父のごとく 兄のごとくに 道を説き
教え給つも 今は声なく

葬儀の霊前に手向けた私の、拙い挽歌である。
平成24年4月3日 記
山地 政美(50回生)



平成 23 年 6 月 丸田先生米寿の祝賀会での山地政美さん (50 回生)

山根 英樹 (58回生)

弔意 (訃報連絡を受けた日に)

米寿のお祝いから8カ月目の同じ日、突然の訃報に驚愕。

67年前に逝った母の祥月命日に重なった。忘れっぽい私の記憶にとどめさせようとした先生のご配慮と受け止めた。

あらためて米寿の会の祝辞を読み返し、思い出は日を追って新鮮、日々感謝。

国語教師は好んで美德を説いた 若者のように熱い血潮をたぎらせて 礼と信を説き思いやりと慈しみを語った それが日本人なんだと

国語教師は好んで美德を語った 思いやり助け合いながら命をつなぐ 争いを好まずい つも笑顔で挨拶から始める それが日本人なんだと

国語教師は好んで美德を口にした 二千年の時は強さと優しさを育んだ 強さは誇りとなり優しさは謙虚謙讓心を育んだ それが日本人なんだと

国語教師は好んで美德に酔った 伝統と美德はモースをも驚かせた 人々は貧しいが幸せそう。貧乏人は居ても貧困はない これが日本人なんだと

国語教師は好んで美德を伝えようとした 知恵に磨かれ伝統に培われた日本人の心だれに どのようにして 次代につなぐか？ 先生の中の日本人は考え込んだ

国語教師は今でも美德を伝える 叱っては慈しみ柔らかい息遣いで真心を包む 瞳を射る視線は胸をえぐり色づく声は胸を刺した 小柄な遺影がとつともなく大きな親父に見えた 大きな大きな日本人に見えた

平成24年2月9日

山根 英樹(58回生)

高齢者のための予防法務

(相続・遺言等に関する書類制作及び相談)

行政書士

山口幸生(61回生)

【新事務所】3月に移転しました。

福岡県行政書士会会員

山口幸生行政書士事務所

〒810-0044

福岡市中央区六本松3-11-45 カーサ大濠 202

TEL(092)751-6655 FAX(092)751-6656



Ad Agency

株式会社 **春潮社**

Shun cho sha

since 1933

代表取締役 古川 淳二(63回生)

〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-12
TEL 092-641-1031 FAX 092-631-2690
営業所/営業部 久留米

交通広告/電柱広告/開院・開業ツール/マス媒体広告/SP広告/屋外広告

www.shunchosha.co.jp



株式会社 堀江本店

代表取締役 堀江 徹(75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL(092)503-0121(代)
FAX(092)504-1219

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

会館だより

九州大学合格者が来館

福翔高校110回卒業生の本村達さんが母親とともに九州大学合格のお礼に会館を訪問されました。

本村さんは1年生の時から中牟田奨学金の奨学生として勉学に励み、このたび難関大学である九州大学工学部（機械航空工学科）に見事合格した報告と奨学金支給に対する御礼のため来館されました。

福商会から後藤専務理事、宇土副理事長、青木事務長が応対し、今後の大学生活の進め方や、将来のビジョンに対する心構えなど話があり、本人からは将来の夢の達成に向け、充実した大学生活をおくりたい旨の言葉がありました。

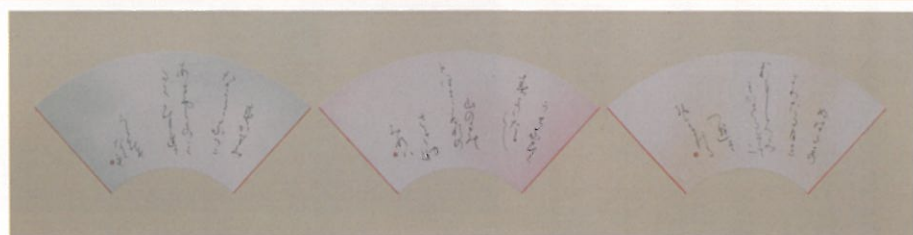


林 麻希さん（105回生）が平成23年3月に九州女子大学第43回卒業書作展で展示した作品を福商会館に寄贈したいとの申し出があり、2階の会議室に展示しました。

林さんは福翔時代に書道部に所属、大学時代は人間科学部人間科学科（書道専修コース）で学ばれ、現在は福翔高校の非常勤講師（国語）を務めています。萬葉集をひらがなで書き記した女性らしい作品です。みなさま福商会館でご鑑賞をお待ちしています。

「書作」寄贈

林 麻希さん（105回生）



二科福岡展

寺崎 陽子さん（60回生）



4月24日から4月30日までの間、福岡市美術館で開催された、第96回二科福岡展に100号の作品を出品されました。

今回の作品のテーマは「あこがれ遊び」で赤を基調とした抽象画でした。二科会会員である寺崎さんから多数の招待券を福商会にいただき、福商(翔)卒業生の皆様が熱心に作品を鑑賞され、好評のうちに二科福岡展は終了しました。

また、平成24年6月10日に開催する福商会全国合同同窓会の大会プログラムの表紙を寺崎さんの作品で飾ることになりましたのでお楽しみにしてください。



お問い合わせは、福商会事務局まで
TEL.092(711)9890

会費
6000円

第一部 懇親会
4階鶴の間
午後5時～7時

第一部 式典
3階芙蓉の間
午後3時30分～4時30分

会場
ホテルニューオータニ博多
福岡市中央区
渡辺通1丁目1-2
TEL.092(714)1111

日時
平成24年6月10日(日)

第62回福商会
全国合同同窓大会の
ごあんない